嘉麻市社協だより

えがお

No.123

みんなで元気に登校 ～牛隈小学校～

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎 1143-3　稲築住民センター内
TEL 0948-42-0751　http://kama.syakyo.com
FAX 0948-83-8005　info@kama.syakyo.com
https://www.facebook.com/kama.swc

発行日 /2016.5.1

協議体についての勉強会

～私たちのための協議体をつくろう～

介護保険制度改正により、要支援者に対する訪問介護と通所介護が、新しい地域支援事業に移行される事になりました。嘉麻市では、平成29年度のスタートに向けて体制整備に取り組んでおり、生活圏域となる5つの中学校区ごとに協議体を設置します。そのため、今年度は協議体の設置に向けた勉強会を毎月開催し、嘉麻市ならではの仕組みづくりをみなさんと一緒に考えていくことになりました。

平成28年4月11日（月）、第1回目の勉強会を稲築地区公民館で行い、77名の方が参加しました。

まず初めに、本会の木山事務局長が、地域包括ケアシステムの構築と地域づくりを中心に、協議体や生活支援コーディネーターの役割について説明しました。協議体では、私たちがどのような状態になっても、住み慣れた地域で生活していくことができるように、地域の困りごとを見つけ、何が必要なのか、何が足りないのかを考えます。そして、住民の助け合いや隣近所のちょっとした手伝いで解決できる仕組みを作るなど、自分たちの意見を地域づくりに反映していきます。

次に、山野第一行政区高齢者支援ふれあいネットワーク委員会委員長の永富健二さんと口春行政区区長の橋本武彦さんから、それぞれの取り組みについて話をしていただきました。

山野第一行政区では、平成13年から高齢者支援ふれあいネットワーク委員会を立ち上げ、いきいきサロンの実施や高齢者宅を訪問する見守り活動（声かけ活動）に取り組んでいます。顔なじみの方が一人暮らしの高齢者の話し相手や相談相手となり、困り事を相談機関につなげるなどの役割を担っています。また、福祉部会と合同会議を行い、地域の課題を共有しながら、横のつながりを深めているそうです。

口春行政区では、一人で暮らしているAさんの、「自宅から離れたゴミ出しスペースまでゴミを持って行くことができない」という困りごとを、誰もが経験するかもしれない自分の困りごとととして捉え、助け合い（お助け隊）活動の仕組みを作ったプロセスを紹介されました。その中で、長く継続できるよう負担にならない程度の金額を設定し、平等な関係で活動していけるよう工夫したとの話がありました。

その後、校区ごとのグループに分かれて、地域で取り組んでいきたいことや今日の感想などを話し合いました。これからも、市民の皆さんと一緒に、楽しく学びながら地域づくりをすすめていきたいと思います。ぜひ、勉強会にご参加ください。

- **6月6日（月）13:30～15:30**
  ●うすい人権啓発センターあかつき
  「活動の記録や情報発信について」
- **7月11日（月）13:30～15:30**
  ●山田市民センター
  「地域の良いところ（強み）を発見しよう」

今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください！

宮田　貴史（たかふみ）さん

塾でのアルバイトをしていて、問題が解けずに悩んでいた子どもが、自力で解けるようになった時のえがおを見て、自分も嬉しく感じます。

成年後見Q&A

Q Aさんの生命保険の受領手続きを保佐人Bがしようとしましたが、できませんでした。保佐人は、どのようにすれば生命保険の受領手続きができますか。

A Aさんの生命保険の受領手続きをするには、代理権が必要です。保佐人には後見人のような代理権が認められていません。代理権を付与するには、家庭裁判所の審判が必要です。

今月のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。
http://kamasyakyo.chobi.net/worldpress/

2016年3月23日（水）

今日は、上山田女性学級の閉校式でした。毎月様々な学びをされてきた最終日は、ハンセン病をテーマにした勉強会でした。ハンセン病問題啓発教育用DVD「壁を越えて」を、みなさんは真剣に見て、考えておられました。

上映後は、もっと学びたいという意見が多く、日程を調整し、菊池恵楓園に行き、フィールドワークをすることになりました。

みなさんと私も学びを深めたいと思います。（K）

2016年3月24日（木）

今日は、職員研修として、平成27年度メンタルヘルス研修を実施しました。

相談業務を行う上で、援助者である私たちが自らの性格や個性を知り、感情や態度を意識的にコントロールすることが求められています。価値観や感情に左右されない援助を提供できるように、自分を知って、ストレスに対処する力を高めることができればと思い、企画しました。

今回は、講師に福岡産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策促進員の内田チグサさんをお招きし、「仕事にいかす交流分析～自分を知り、自分を活かすために～」をテーマにお話いただきました。内田さんは、心の健康を保つためのセルフケアやストレスに打ち勝つための生活、来年度から実施するストレスチェック制度成立の背景、仕事に活かす交流分析について、丁寧に説明されました。また、実際に自我状態を分析するため、エゴグラムをそれぞれ書き、肯定的にも否定的にも働く3つの心を学びました。

自分を知った上でストレスと向き合い、対処していくことの大切さを楽しく学んだ研修でした。（K）

平成28年度　一般会計資金収支予算書

（単位：千円）

●事業活動による収支	
（収入）	
会費収入	1,668
寄附金収入	3,600
経常経費補助金収入	40,105
助成金収入	606
受託金収入	50,054
貸付事業収入	100
事業収入	21,547
介護保険事業収入	45,135
障害福祉サービス等事業収入	17,919
受取利息配当金収入	111
その他の収入	116
事業活動収入計	180,961
（支出）	
人件費支出	172,656
事業費支出	44,792
事務費支出	8,277
貸付事業支出	100
助成金支出	2,703
負担金支出	519
事業活動支出計	229,047
事業活動資金収支差額	▲ 48,086

●事業活動による収支	
（収入）	
施設整備等収入計	0
（支出）	
施設整備等支出計	0
施設整備等資金収支差額	0

●その他の活動	
（収入）	
拠点区分間繰入金収入	21,355
サービス区分間繰入金収入	50,940
その他の活動収入計	72,295
積立資産支出	100
拠点区分間繰入金支出	21,355
サービス区分間繰入金支出	50,940
その他の活動による支出	4,717
その他の活動支出計	77,112
その他の活動資金収支差額	▲ 4,817

●予備費支出	2,084
●当期資金収支差額合計	▲ 54,987
●前期末支払資金残高	54,987
●当期末支払資金残高	0

平成28年度事業計画

～孤から個へ　個から地域へ～

一人ひとりとの関わりを大切に、
目の前の問題を一緒に解決していきます。
そして、地域のみなさんと共有し、
支え合える地域を目指します。

監査）

待合所．児童遊具の管理、チャイルドシート．車いすの貸出業、飲料水自動販売機の設置、紙おむつの宅配事業）
各種研修会や講習会への参加）

民

かま権利擁護センター

・県社協日常生活自立支援事業（飯塚市・嘉麻市・桂川町）における基幹的社協事業
・地域福祉権利擁護事業（個別支援計画の策定と寄り添い型支援）
・市民後見人の養成．活動支援（養成講座、フォローアップ講座）
・成年後見制度の啓発（出前講座、フォーラム開催）
・深刻な生活課題の課題解決（審議会の開催）
・適性な事業運営と透明性を確保（運営委員会の開催）
・課題の共有と支援の均質化（定例的な支援員会議の開催）
・法人後見等の積極的受任
・安心と豊かな老後生活の支援（遺言書作成支援事業、エンディングノートの推進）
・生活再建に向けた寄り添い型支援（諸費立て替え事業）

・生活再建　・権利擁護　・安心で豊かな生活　・孤立の防止

かま自立相談支援センター

・生活に困っている方及び地域の方々等からの相談受付
・アセスメント及びスクリーニングの実施、支援計画の作成
・寄り添い型支援による自立に向けた働きかけ
・無料職業紹介事業
・家計相談支援事業
・フードバンク事業
・地域資源の利用、創出による社会参加等の自立支援
・生活福祉資金貸付事業の貸し付け及び借受人への寄り添い型支援

・地縁、血縁、社縁の構築　・生活再建　・多重課題の整理、解決

かまひきこもり相談支援センター

・ひきこもり相談（電話、訪問、地域や関係者からの情報収集）
・寄り添い型訪問支援（本人、家族）
・ひきこもりに関する理解を深める（勉強会、定例的家族の会の開催）
・居場所、行ける場所づくり（フリースペース、段階的外出、中間的就労）
・ひきこもり相談員研修

・孤立の防止　・子育て不安の解消　・見守り　・仲間づくり

かま障がい者地域生活支援センター

・居場所、行ける場所づくり（日中一時支援事業、子育てサークル等との交流）
・障害者総合支援法に基づく指定計画相談支援事業の実施

・子育て不安の解消　・誰も排除されない地域づくり

嘉麻市社会福祉協議会

法人運営

・適正かつ透明性のある法人運営（理事会、評議員会、内部監査、外部
・浄財の有効活用（寄附金、会員会費等の募集）
・市民生活に密着した存在（アルミ缶等リサイクル事業、稲築地区バス
ふるさとポストカードの販売、葬祭場の指定事業、初盆世帯供物事
・職員体制の充実及び職員の資質向上（ストレスチェック制度の導入、

・信頼
・信用

かま生活支援・相談センター

（コミュニティワークセンター）
・総合相談の充実（法律相談、心配ごと相談、ワンストップ型相談
支援体制の整備、電話による福祉なんでも相談（24時間・365日）
・校区をエリアとした地域福祉活動の推進（コミュニティソーシャル
ワーカーの配置、ニーズ・社会資源調査、地域アセスメントの実施、
生活支援コーディネーターの養成）
・小地域活動の拠点づくり（地域福祉部、福祉推進員）
・小地域ネットワークの推進、ふれあいいきいきサロン
・社会資源の創出（法人の社会貢献、地域支えあい事業）
・安心で安全な地域生活（空き家管理事業、緊急時通報システム）
・広報活動（広報紙の発行、ホームページ・SNSによる情報発信）
・当事者を孤立させない（在宅介護者の集いの開催）
・居場所、行ける場所づくり（寄ってこハウス）
・子育て世代の孤立を防ぐ（リユースセンター、おしゃべりサロン）

・孤立の防止
・見守り
・課題解決
・共助

相 談

市

かまボランティア・市民活動センター

・地域における福祉活動の人材養成（福祉教育の充実、ボランティア講座の開催）
・ボランティア．市民活動．NPO等との協働による地域づくり（運営委員会、部会の開催）
・災害時に強い地域づくり（災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直し、
実施訓練、災害ボランティア連絡会）
・災害時の実効力確保（被災地への職員派遣、ボランティアバスの運行）

・連帯　・防災、減災　・助け合い

介護保険事業（在宅福祉推進部門）

・居宅介護支援事業（嘉麻北居宅介護支援事業所）
・訪問介護事業（嘉麻北訪問介護事業所・南訪問介護事業所）
・障害者総合支援法に基づく居宅介護、重度訪問介護等事業、同行援護事業

受託事業（受託事業管理経営部門）

・配食サービス事業
・高齢者生きがい活動通所支援事業
・生活管理指導員派遣事業

公の施設の指定管理事業

（福祉施設等管理・経営部門）
・山田ふれあいハウス

かま ボランティア 市民活動センター情報

千手けやき会の活動 ～地域を盛り上げるために～

千手けやき会（会長：川村司さん）が発足したのはおよそ2年前です。千手小学校の閉校が決まった時に、「最後の思い出作りとして何かやろう」と呼びかけられたそうで、それによって集まった方たちで結成されました。こうして集まった皆さんで考えたのが灯ろうを用いたイベントでした。

千手小学校のシンボルであるけやきの木をライトアップし、竹灯ろうに火を灯していくと、辺りはとても幻想的な雰囲気につつまれ、小学校との別れをみんなで惜しむとてもいい時間となったそうです。

この閉校イベントによって、メンバーの地域とのつながりは強く、また、地域を盛り上げたいという思いはより一層強いものとなりました。閉校後も地域を盛り上げていこうと、海外の芸術家たちの参加によるアートイベントや英会話教室などを開催してきました。

今年の3月19日には2回目となる灯ろう祭りが行われ、千手小学校の卒業生や地域の方などたくさんの方でにぎわっていました。会長の川村さんは「みんなから愛されてきたこの小学校をこれから地域の活動の拠点としていきたい。」と思いを語られました。次回のイベントは未定ですが、知恵を出し合って、楽しいものとなるように、多くの方に参加してもらいたいと今後の抱負を話されました。

灯ろうに照らされる木の舟

「凌駕」とそのOBの方々の和太鼓演奏

ボランティアイベント情報

地域で学ぶボランティアセミナー ～定年からはじめるボランティア～

「ボランティアをやってみたい」という方におすすめのセミナーです。実際に地域で活動中のNPO、ボランティア団体の方から直接、活動を紹介していただきます。

日　時　平成28年5月25日（水）
13時30分～14時45分

会　場　福岡県70歳現役応援センター
飯塚オフィス
【所在地：飯塚市本町7-25
三協木村ビル1階（本町商店街）】

内　容　ＮＰＯ・ボランティア団体からの活動の紹介

嘉穂特別支援学校～学習発表会～

嘉穂特別支援学校では、学習発表会を開催します。入場は無料ですので、ぜひご来場ください。

また、当日、駐車場の整理等にご協力をいただけるボランティアを募集しています。

日　時　平成28年5月13日（金）　9時20分～13時30分

会　場　嘉穂特別支援学校（嘉麻市鴨生328-1）

内　容　ステージ発表、中学部作業学習作品販売
（季節の野菜、クッキー、石鹸、窯業作品など）、ＰＴＡバザー

【ボランティア】

集合時間：8時30分
集合場所：嘉穂特別支援学校入り口玄関付近
活動内容：駐車場の整理、ステージ発表中の児童・生徒への付き添いなど
募集人数：5名程度
募集締切：平成28年5月13日（金）
そ の 他：動きやすい服装でご参加ください。昼食は主催者で準備します。

【お問い合わせ先・お申し込み先】かまボランティア・市民活動センター　☎0948-42-0751

今月の一冊

犠牲のシステム 福島・沖縄

著者：高橋哲哉　出版　集英社新書

著者の高橋哲哉さんは、まず、犠牲のシステムについて、「或る者たちの利益が他のものたちの生命や健康、日常、財産、尊厳、希望などを犠牲にして生み出され、維持される。犠牲にする者の利益は犠牲にされるものの犠牲なしには生み出されないし、維持されない。この犠牲は通常隠されているか、国家や国民、社会、企業などの共同体にとって「尊い犠牲」として美化、正当化されている」と定義づけています。

福島の原発事故において、「犠牲にされる者」は、放射線被爆への不安や故郷を失う不安、風評被害を含めた産業不安、差別のまなざしなど過酷な事故によって甚大な被害を受け、様々な不安に晒された方々。そして原発事故の収束に当たらされている被爆労働者等であること。

また、「犠牲にする者」は、国策として原発推進に関わってきた政治家や官僚、学者や専門家。更に、原発を過疎地に押し付けて電力を享受し、原発のリスクやそこに組み込まれた犠牲とその可能性について、無関心であった都市部の市民も含まれると述べています。

このような事故が起こった以上、原発のリスクについて知るチャンスすらなかった人たちも含めて、誰もが自らの問題として考えていく責任が生じたと言えるだろうとも述べています。

次の章では、もう一つの犠牲のシステムである「沖縄」と「福島」の共通点と相違点について、述べられています。

沖縄の米軍基地は県民が誘致して存在しているわけではないという大きな違いがあること。しかしその一方で、構造的な差別の問題、交付金や補助金による利益誘導がなされていることなど共通している部分も多く見られると言います。地方自治体が原発の安全性の不安を持ちながら誘致する背景には地域の貧しさがあること、沖縄県も県民所得が全国で最下位レベルであること、この共通点には大都市圏との地域格差が背景にあり、それは、日本の近代の歴史の中でつくられてきた、大都市圏との地域格差が背景にあると指摘されています。

「犠牲は国家社会を営むうえで避けられない」、「国民全体の利益を国益と称するならば、そのためには、少数者の犠牲はやむを得ない」、「いかなる犠牲もなしには国家社会の運営は不可能」といった考えもあります。しかし、まず、自分がそうした犠牲のシステムの中にいて、誰かの犠牲によって今の生活が成り立っているということをしっかりと認識したうえで、犠牲のない社会をつくっていくためには何が必要なのかを考えていかなければならないと強く感じた一冊でした。（たけがわ）

6月の総合相談

法律相談

と　き：6月2日（木）
　　13:00～16:00
ところ：山田ふれあいハウス

と　き：6月16日（木）
　　13:00～16:00
ところ：稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。先着順となっているので、お早目にお申し込みください。

心配ごと相談

と　き：6月8日（水）
　　13:00～15:00
　　6月22日（水）
　　13:00～15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

炭鉱（ヤマ）の記憶 No.110

土をかぶせて蒸し焼きにしています。煙の中での作業でした。

右の写真には、上山田炭鉱（昭和44年）の豆炭工場で働く女性が写っています。今回は、豆炭工場のことを阿座上利雄さん（枝坂）に伺いました。

坑内で採掘された石炭の中には不純物（ボタ）も含まれているため、バウム水洗機や、トロンメルと言う機械で分離し、その後それぞれの使用目的に応じて製品化していました。残った微粉炭は、専用の水路で豆炭工場に流し、沈殿バックという所に溜めて沈下させて水切りし、乾かします。

その後、少量の粘土を混ぜて特製の鉄製ドラムで固形の豆炭ができあがります。その豆炭を積み上げ、焼き、完全に焼ける前に土で全体を覆いかぶせて蒸し焼きにし、2～3日後に取り出していました。

写真提供者：永吉博義さん

出来上がった豆炭を袋に詰めています。

出来上がった豆炭は、指定された日に配給券と交換し、家庭ごとに主に七輪の燃料として使われていたそうです。当初は捨てられていたものを、豆炭工場で加工することによって、家庭では欠かせない燃料としても活躍していました。

法人運営 INFORMATION

第51回理事会　《開催日》平成28年2月26日（金）

【議案第152号】任期満了に伴う評議員の選任について

【議案第153号】平成28年度広報紙印刷請負契約について

第52回理事会　《開催日》平成28年3月16日（水）

【議案第154号】平成27年度補正予算について

【議案第155号】平成28年度事業計画及び収支予算について

【議案第156号】定款の一部変更について

【議案第157号】ストレスチェック制度実施規程の制定について

第37回評議員会　《開催日》平成28年3月23日（水）

【議案第70号】理事の補欠選任について

【議案第71号】平成27年度補正予算について

【議案第72号】平成28年度事業計画及び収支予算について

【議案第73号】定款の一部変更について

山田ふれあいハウスからのお願い

山田ふれあいハウスホールでは、市民の方が囲碁や将棋、読書などをして、思い思いの時間を過ごされています。特に囲碁と将棋の対局は、毎日のように楽しみに来られる方が多く、熱戦を繰り広げられています。

皆様のご家庭で使わなくなった碁盤や碁石、将棋盤と駒がありましたら、ぜひお寄せください。

連絡・問い合わせ先

山田ふれあいハウス嘉麻市上山田502番地6

☎0948-52-1847

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券（千円分）をプレゼントします。

問題　**介護保険の改正に伴い、嘉麻市には5つの協議体ができる予定です。今年度は、協議体を学ぶ勉強会を開催しますが、どのくらいの頻度で行うでしょうか？**

（1）3ヵ月に1回　（2）2ヵ月に1回　（3）1ヵ月に1回

●応募方法
①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、4月30日（必着）までにハガキ、またはＥメールにてご応募ください。

●送付先
〒８２０－０２０５　嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会　E-mail:tiiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え（2）
2月29日に開催した「福祉のまちづくり研修会」では、更生保護について学びました。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。
・炭鉱の記憶、楽しみに読ませていただいています。
・災害ボランティアセンターの記事が特に気になりました。
・成年後見Q&Aにも必ず目を通しています。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

指定葬祭場紹介

飛鳥会館　南斎場

飛鳥会館でご葬儀をされるご家族のうち、8割の方が事前相談に来館されています。葬儀に関する疑問、予算等気兼ねなくお尋ねください。

家族葬にあわせたプランもご用意し、スタッフが心を込めてお手伝いいたします。

また、当会館のお斎（とき）等は、パドドゥ・ル・コトブキの本格料理をご用意しております。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館 南斎場を含め、市内に８ヶ所あります。

きど葬祭やまさ碓井斎場……☎62-4499
ひさつね会館……☎52-0758
いすや会館……☎57-4444
セレモニーホールおおつか……☎52-1212
かほ葬祭　あじさい会館……☎62-5566
善光会館　稲築会場……☎83-5000
おかむら葬祭岡村会館……☎42-4420

みなさまの善意、心より厚く、お礼申し上げます。

香典返し・寄附

3月1日～3月31日受付分

●香典返し

【漆生本村】
親族 松熊典子様
故 松熊強様

【山野第一】
親族 西田義弘様
故 西田トミ子様

【山野第二】
親族 早川正秀様
故 早川榮子様

【熊ヶ畑第三】
親族 大田修様
故 大田久様

【神幸】
親族 植上芳子様
故 植上ミチヱ様

【木城】
親族 宝井サダヱ様
故 宝井隼人様

【中山田下】
親族 梅尾信克様
故 梅尾恵子様

【山下】
親族 栗林カヨ子様
故 栗林義則様

【石ヶ崎】
親族 荒牧かほる様
故 荒牧武志様

【上西郷】
親族 籾井康二様
故 籾井美知子様

【千手】
親族 山本京子様
故 山本幸雄様

【九郎原】
親族 三浦美津子様
故 三浦攻一様

【泉河内】
親族 吉貝利喜男様
故 吉貝利三次様

【宮吉】
親族 嶋田眞弓様
故 嶋田ハマ子様

【飯田】
親族 籾井徹様
故 籾井命光様

【上臼井上】
親族 伊藤一男様
故 伊藤順二様

【上臼井下】
親族 岩井久子様
故 岩井富重様

【下臼井西】
親族 河崎美津子様
故 河崎数美様

【光代】
親族 田中絹子様
故 田中正夫様

【一般寄付】
嘉穂の名水愛好者一同様

●寄附

【子育てリユース】
鴨生第一 大和亨子様
鴨生第二 郡山直子様
木城 笹尾航希様
中山田上 小野紀子様
石ヶ崎 渡邊綾様
飯塚市 樋口ますみ様
桂川町 梶原真理様

田川市 小松直子様

【アルミ缶】
漆生中央 田中茶舗様
漆生南部 岩田勇治様
樋渡 藤春一枝様
鴨生町 福澤和代様
漆生東 匿名様
百々谷 吉元悦子様
百々谷 橋本利根様
神幸 松岡敦子様
木城 笹尾航希様
中央 明石睦則様
立石 矢野千恵様
鴨生第一行政区様
石ヶ崎シニアクラブ様

【リングプル】
漆生中央 佐伯澄子様
漆生中央 匿名様
西岩崎 矢部英雄様
六四田 松田敏雄様
立石 矢野千恵様
古河 甲斐良子様
五日町 松岡敏子様
鴨生第一行政区様
スイミングプラザなつき様
嘉麻市商工会女性部様
山野第一福祉部会様
カトレアサークル様
碓井地区民生委員児童委員協議会様
石ヶ崎シニアクラブ様
籾井電機商会様
夢サイトかほ様
嘉穂手話の会様

【古切手】
西岩崎 矢部英雄様
千手 篠崎ゆかり様
教育ナビゲーション(株)様
嘉麻市福祉事務所保護課様
JAふくおか嘉穂様
南部グリーンセンター様

【使用済みテレカ】
西岩崎 矢部英雄様

鴨生町 渡邊澄子様

【アルミ】
古河 塚原京子様

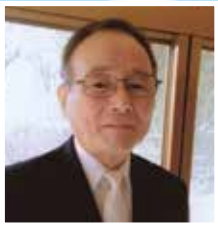
あなたの会費が、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。
（敬称を省略させていただきます。）
（順不同で掲載しています。）

3月1日～3月31日受付分

〈漆生中央〉岡山文子、匿名（三口）
〈山野第一〉辻田亜由美
〈鴨生町〉後藤ノブ子、野見山歌子、西川ヤエノ、山本加代子、秋穂孝輝、水永義治、江藤ハツ子、松本ミヨ子、山本光子、田中光春、越岡幹雄（三口）、荒川逸子、小峠花子、井口磨智子、石田佐知子、財津寛美、山下靖治、野見山信義、辻田浩、村上富美子、森政食品、角田渉、パナラインドたかせ、末田正和、立川米店、ニッコウ、川角定行、宮崎勇、野見山加代子、大井宮子、高橋続子、栗原清子、浅田チズ子、百武明、桜井カメノ、古賀和代、井上修二、中村勧、北添誠、諸井慶次、梶原謙蔵、高津嘉子、篠田芳子、塚本謙太郎、大原義子、田中茂、西出福江、永田隆正、宿里幸男、栗原清二、アトリエキスミー、山田順子、伊藤好子、大西キミエ、奥村廣子、佐敷誠、渡辺スミ子、溝口球美子、犬童弘子、山崎千代
〈平東〉米矢稲子
〈緑ヶ丘〉金川智裕
〈熊ヶ畑第一〉財津吉美、大里恵、大里梶栄、大里優子、大里速、大里初男、友田雅則、廣瀬スズヱ、大里ミツエ、江藤久人、大里喜久雄、大里京子
〈尾浦第一〉松本由美子、酒井リツ子
〈木城〉大里英雄
〈大橋〉深町紀子
〈中央〉渡辺進、渡辺智子
〈猪之鼻〉大久保昌之
〈中山田下〉嶋田伸之
〈笹原〉尾園玲奈
〈下臼井西〉小川史佳（二口）
〈下益〉伊藤恵美香
〈飯塚市〉上森和雄、木原靖世（二口）
〈県外〉鎌田靖
〈団体〉稲築地区民生委員児童委員協議会（二十口）、嘉穂地区民生委員児童委員協議会、山根國治、武田八重子、大里盛人、野見山榮子、田中マスミ、朝比奈凡人、松岡敏子、有田芳行、武田貴久子、岩崎洋子、横清、川原久美子、中原光江、西森章雄、芹野彌生、山本幸惠、田中雅文、籾井輝久、川原田寿史、日高加代子、大屋千鶴子、縄田髙孝、中原重治、岩下民代、渡辺ノブ子、坂口小夜子、江藤伸、江藤さよ子、熊本正

ふるさとへの手紙 No.123



大分県別府市在住
畑　運夫（はこぶ）さん（旧姓 田中）
光代出身

ありがとう上山田線

50～60年前の飯塚と山田には上山田線という鉄道が走っていました。蒸気機関車が引っぱる客車が5両、日に6～7往復、ディーゼルカーが日に2回程走っていました。地域の人達は朝夕走る汽車の音を時計がわりに時間を覚えて仕事をしていたようです。特に農家の人は田畑を耕しながら昼食時などには良かったのではないでしょうか。

この上山田線には色んな思い出があります。近所の友達と線路のレールに耳をあて駅から発車してくる蒸気機関車の音を聞いたり、列車の窓をあけて手を振りながら遠くから我が家へやってくる姪っ子を駅の近くまで迎えに行ったこと。新飯塚に嫁いでいる姉の所へお使いに行き、帰りにお小遣いの十円玉をにぎりしめポケットへ入れて帰った（この頃はみんなこんなものでした）こと。春にはたくさんのつくしを線路の土手ですべりながら採り、はかまをむいて玉子とじを作ってもらったのも懐かしい思い出です。飯塚へ友達の好きだった俳優の映画を二人で観に行った帰り道に、歩きながら食べた廻転焼おいしかったなぁ。登校日でもないのに一つ年上のあこがれの女学生と汽車の中で出会ったドキドキ感、今でも忘れません。

これは中学2年生の時の出来事です。我が家から学校迄歩いて50分程かかるのです。そこで禁止されている線路通学を取りました。これだと10分程短縮できるのです。線路通学の前に、下に嘉麻川が流れている長さ50mくらいの鉄橋がありました。ある日、鉄橋のあと3分の1くらいまで来た時、うしろを振り向くと何とディーゼルカーが迫って来ているではないか。これは危ない、飛び降りるしかないと思い、鉄橋の枕木（まくらぎ）を後にして飛び降りました。降りて上を向くと高さ5、6m位あったでしょうか。数秒してディーゼルカーが通りすぎました。下は土手河原になって何の怪我もなく無事歩いて又線路通学を始めました。こうして中学3年間を終える事が出来ました。

編集後記

（きはら）

P4-5の事業計画では、住民のみなさんの困りごとを一緒に解決するために、各部門やセンターがどんなことをするのかを紹介しています。今年度はより一層一人ひとりとの出会いや関わりを大切にしていきます。

（みぞくち）

牛隈小学校の生徒のみなさんとあいさつを交わし、朝からとてもすがすがしい気持ちになりました。毎朝子どもたちを見守る地域のみなさんの活動が、安心、笑顔につながっていることを感じました。

（たけがわ）

今月の一冊で、自分や家族が「犠牲」となったときに、国民のためだからと言えるのかと考えました。「リスクを自ら負うことができないのであれば、他の地域の人々にそれを押し付ける権利はない」ということが心に残っています。

（おがわ）

みなさんと一緒に、楽しく学びながら嘉麻市ならではの協議体づくりを行っていきたいと思います。お住まいの地域で、こんなことに困っている、あんなことやってみたいなど、いろいろなご意見をお聞かせください。

（あかま）

「炭鉱の記憶」の取材で阿座上さんに豆炭工場について当時の写真等を見ながら話を伺いました。分からないことばかりですが、皆さんに分かりやすく伝えていけるように頑張りたいと思います。

（まる）

千手小学校の閉校イベントがきっかけとなって設立されたボランティアグループである、千手けやき会の方に取材させていただきました。地域を盛り上げていきたいという強い思いを感じました。

くらし・行政困りごと相談所（合同行政相談所）開設のお知らせ

複数の機関が参加する「くらし・行政困りごと相談所」を開設します。
予約不要、無料で、秘密は厳守されます。お気軽にご利用ください。

日　時：平成28年5月31日（火）9時30分～15時（受付：14:30まで）
場　所：イオン穂波ショッピングセンター（1階正面玄関エレベーター前）

お問い合わせ先　総務省　九州管区行政評価局　行政相談課　☎092-431-7082

平成28年熊本地震　災害義援金募集
～私たちにできることから～

4月14日（木）の熊本県熊本地方を震源とする地震により、各地で家屋の倒壊等、甚大な被害が発生しました。被害に遭われた皆様には心からお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

この度、熊本県共同募金会から、被災された方々を支援するために、義援金の募集の案内がありました。そこで、本会においても、被災地の復興支援のため、下記のとおり災害義援金を募集しますので、ご協力をお願い致します。

《義援金箱設置期間》
平成28年4月18日（月）から平成28年6月27日（月）まで

《義援金箱設置場所》
●稲築住民センター
（岩崎1143番地3）
●山田ふれあいハウス
（上山田502番地6）

《お問い合わせ先》
かまボランティア・
市民活動センター
☎0948-42-0751